

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埜田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



甲子園球場で「作新の風」吹き渡る



## 作新の風ふきおこる

作新学院硬式野球部全国制覇  
“優勝おめでとうございます”

会長 安藤 寛樹  
(昭和45年卒)

54年ぶりに深紅の優勝旗を栃木県そして学院に持ってきてくれたことは偉大なる功績であり同窓会としても大いに喜んでるところです。2回戦から決勝まで暑い中、学院歌を歌えたこと、その場に立ち会えたこと嬉しく感動しました。

そして新チームでは3年生が抜けて少し心配した県秋季大会で優勝、関東大会でも見事優勝、春の甲子園出場をほぼ決めました。夏春連続優勝へのチャンスを手に入れました。素晴らしいことです。

さて、昨年の夏は作新にとって暑い夏になりました。リオ・オリンピックでは萩野公介君が金・銀・銅の3つのメダルを、女子個人メドレーでは清水咲子さんが日本新で見事ベスト8に入る活躍をしました。萩野公介君の謙虚な対応は、世界中から賞賛され、まさに世界の競泳界をリードする選手になりました。甲子園優勝と併せまさに“作新の

風吹きおこる”夏になりました。選手の皆さんはもとより関係者・父兄の皆様にご心よりお祝い申し上げます。

我が同窓会は昨年も多くの事業を行いました。1月の成人祝賀会に始まり部活動のOBOG会・若手異業種交流会・日光への一日研修会そして初めて同窓会ゴルフコンペを開催しました。船田元先生が名誉理事長をされている鬼怒川CCにて42名の参加で大いに盛り上がり楽しい一日を過ごしました。次年度も開催を願うとの多くの声を聞きました。

これらの事業を通し同じ作新の門をくぐった卒業生が“一校一家”の精神のもと、学院と同窓会の絆を大切に、お互い助け合い協力しあい地域社会に貢献する事が、同窓会の大きな使命と思っています

最後に作新学院のさらなる発展と同窓生の皆様の今年1年のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。



## 作新の風、吹き起こる!

作新学院 院長 船田 元

平成28年の夏は私たち作新学院にとって、大変実り多いものとなりました。

まず、リオ・オリンピックでは、卒業生の萩野公介選手が、競泳で見事に金、銀、銅メダルを獲得し、日本選手団のムードメーカーの役割を果たしてくれました。同じく卒業生の清水咲子選手も自己ベストを出して、堂々の8位入賞を果たしました。

第98回全国高校野球選手大会、すなわち「夏の甲子園」では実に54年ぶりの全国制覇を果たし、深紅の大優勝旗を持ち帰ってくれました。さらに作新幼稚園、小学部、中等部卒業の榎崎智亜選手は、スポーツライミング世界大会で日本人初の優勝を記録しました。インターハイ、国民体育大会での在校生の活躍も枚挙に暇なく、全国に、そして世界に作新の風が吹き起こりました。

しかし、彼らの多くは、たやすく頂点に立てたわけではありません。それぞれ言葉に表せないほどの苦勞を味わっています。萩野選手はリオ五輪の一年前、パリで強化合宿中に自転車から落ちて腕を骨折しました。何回かの手術と厳しいリハビリを克服して、五輪直前の4月の日本選手権大会で、最後の切符を勝ち取りました。

甲子園で優勝したチームも、秋の県大会と春の県大会では、早い段階で敗退してしまいました。小針監督は選手たちのやる気を試すため、朝3時からの異例の朝練を断行し、ガッツを叩き込みました。なお甲子園出場のため大阪入りしてからの練習や集中力の維持をどうすれば良いか、この5年間の監督や選手たちの経験が、大いに参考になったのではないのでしょうか。甲子園で試合をする度にチームの団結力が高まり、今井投手が急成長していく姿は、誰も

が認めるところではなかったでしょうか。

作新学院の131年の長い歴史の中で、「作新民」の建学の精神がいよいよ発揮される時が来ました。「自らを常に新しくする」人々は、常に挑戦者であり続けるのです。また、どんな困難に立ち向かおうと、決して諦めない不屈の精神を持たなければなりません。萩野君や硬式野球部の諸君、さらには全国大会や世界大会で栄冠を勝ち取った諸君には、この心構えが最も強く現れていたのだと思います。また、この心構えはスポーツ選手だけに限りません。文武の両道に通じるものです。

さらに、私たち作新学院は、常に周囲に対して感謝の心を持つことを教えています。6年前に発生した東日本大震災の被災者の皆様のことを忘れないように、幼稚園から高校生まで今でも支援活動が続いています。中等部2年生は宿泊体験学習で、石巻市や気仙沼市を訪問し、被災者からの体験談を真剣に聞いています。毎年の創立記念式典の後には街頭募金を実施し、多くの生徒に混じって現役時代の萩野君も、また硬式野球部の甲子園経験者も、大声で募金を呼びかけて来ました。

萩野君も野球部の諸君も、インタビューされるたびに、必ず「感謝」の言葉を発してくれます。しかも付け焼き刃ではなく自然体で出てくるのは、長年の社会貢献活動の成果ではないかと自負しています。私たちはこれらの数々の栄光に決して奢ることなく、これからも「作新民」そして「文武両道、社会貢献」の道をひたすら追い求めて参ります。同窓会の皆様には、どうぞ私たちの取り組みに対しまして、深いご理解とご協力をいただきますよう、心からお願いいたします。

### 学院近景







## “人間力”で勝つ

作新学院 理事長 船田 恵

作新学院同窓会の皆様方には平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

また昨年の夏には、皆様からの熱いご支援・ご声援の賜物として「リオで金、甲子園でも金!」を実現させていただくことができ、54年ぶり深紅の大優勝旗を奪還することができました。

あらためまして、心より御礼申し上げます。各分野で“頂上(てっぺん)”をめざし極める「作新民」の活躍の背景には、作新が130年の時を超えて培ってきた“3つのS”の存在を実感します。

一つ目のS、それは「信念」です。この言葉は、志(こころざし)、あるいは使命(ミッション)という言葉にも置き換えられると思います。

ただ信念は時として、近視眼的な勝負事では勝利を遠ざけることもあります。

たとえば、甲子園。効率的に試合に勝つことだけを考えれば、技術や体格に優れた選手を全国から集めるということも考えられます。しかし、作新学院の選手はすべて地元出身。隣県から通ってくる生徒はいても、遠方の他府県に選手を求めることはしていません。

なぜ地元にこだわるのか。作新には、実現したい理想の高校野球があります。そしてその基には、実現したい理想の“教育”があるのです。

瞬間風速的な評価を求めず地に足をつけ、「総合的な人間力」を育成するという教育の理想を実現する。それが、作新の「信念」です。

信念を持つことは、人に自信や誇り、勇気や覇気

を与えてくれます。54年という長い時を経て、再び優勝旗をもたらしてくれた第一の原動力が、学院の「信念」であったことを私たちは何より誇りに思います。

二つ目のS、それは「執念」です。どんなことがあろうと、「決して負けない」、「絶対に諦めない」という強い気持ちです。

中でも大切なのは、「自分に負けない」ということです。

絶対に負けない、諦めないという「執念」の強さこそが、最後の最後に勝利を引き寄せる作新の人間力の根幹だと思います。

三つ目のS、それは「信頼」です。

どんなに個人の能力が高くても、チームの仲間、支えてくれる家族や指導者との信頼の絆が揺らいでは、勝利はつかめません。全国優勝を果たした今夏の硬式野球部ほど、信頼の絆の強さを実感させてくれたチームはありませんでした。

県大会の決勝戦で大けがを負いながらもベンチ入りに選ばれた藤沼選手、誕生日にアルプススタンドから贈られたバースデーソングを力にホームランアーチを描いてみせた山ノ井選手etc. チームの固い絆が起こした幾つもの奇跡の連続が導いた全国制覇でした。

今春のセンバツでも、また甲子園で皆様方から応援していただける作新でありたいと願っております。本年もご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 学院近景



# 同窓生紹介

さまざまな分野で活躍する同窓生！



衆議院議員、  
作新学院硬式野球部  
OB会長に就任して

衆議院議員 亀岡 偉民  
(昭和49年卒・作新学院硬式野球部OB会長)

昭和49年卒の亀岡偉民です。この度、作新学院硬式野球部OB会会長に就任させて頂きました。

私は現役の時、当時怪物の異名をとった、江川投手の捕手として春夏甲子園に出場することができ、とても貴重な経験をさせて頂きました。当時は勝って当たり前、負けたら捕手のお前が悪いと先輩からプレッシャーをかけられ、必死でプレーした記憶があります。そんな中で今でも思い出されるのが「一校一家」の精神です。沢山の先輩から指導を受け、激励され、差し入れを頂きました。勝った時、負けた時、それぞれにアドバイスを頂きました。

さらには大学に入ってから当時の船田中先生や作新の関係者、先輩からたくさんのご指導を頂きました。私にとって作新と野球は人生のそのものと言っていいでしょう。さらにOB会長に就任した時に54年ぶりに野球部が全国制覇を成しえたことは感動以外にありえません。船田元先生ご夫妻と全身汗まみれになって応援し、選手たちから大いなる感動をいただきました。実は甲子園のスタンドから応援したのは初めてでした。改めて作新学院に感謝し、野球部の諸君に感謝し、共に応援してくれた多くの関係者に心から御礼申し上げます。そして個人的に私を野球人として育ててくれた今は亡き山本先生、渡辺さん、多くの先輩方に心から感謝申し上げます。これからはOB会の為に、多くの卒業生の為に出来ることは何でもやりたいと思います。同窓生の一人として皆様のお役に立てるように頑張っていきますので今後とも更なるご指導いただけますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



船田亨二先生の思い出

藤田 勝春  
(昭和35年卒)

私は、昭和35年に母校を卒業し、その後、中央大学法学部法律学科を卒業した。何年か司法試験の勉強をして試験に合格し、40年以上宇都宮市で弁護士を開業し仕事をしている。私を法律学に導いてくれたのは当時の船田亨二先生であった。先生は、船田元先生の祖父である船田中先生の弟にあたり戦前は京城帝大教授で、ローマ法の権威であった。戦後、公職追放を受けた船田中先生の代わりに衆議院議員になられ、公職にもつかれた。船田中先生の追放解除の後は東京大学で教えられ、作新学院の院長もなされた。その当時、先生は、聴蛙館の講堂に生徒を集め、時々講話を行って下さった。私が強い印象を受けたのは、ローマ法の話であった。紀元前2000年にわたりローマ帝国は世界を支配したが、その社会の全ての基盤となったのは、ローマ法であり、ローマ帝国が亡んだ後も、ローマ法の間精神はヨーロッパに受け継がれた。日本は明治維新の時に、近代的な法律を作るため、ドイツ(当時プロイセン)、フランス、イギリスに留学生を送り、さまざまな法律を学び、日本において法律を作った。憲法、民法、刑法、商法など、どの法律にもローマ法の間精神が生かされている事を船田亨二先生が分かりやすく話して下さいました。それがきっかけで、私は法律を学ぼうと考えるようになった。

(株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>



代表取締役会長 安藤 英夫 (昭和43年卒)  
代表取締役社長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)  
取締役総務部長 安藤 篤史 (平成 9年卒)  
宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神 渡 (昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521



# 作新学院高等学校同窓会 平成28年度 定時総会

副会長 三村 松司 (昭和35年・商3回卒)



平成28年度作新学院同窓会定時総会は、平成28年6月10日宇都宮市の、ホテルニューイタヤで、船田 元学院長はじめ多くのご来賓や、約100人の同窓生が参加し開催しました。

総会では、司会の古谷祥一(総務企画部・昭和58年卒)の発声で、物故者へ哀悼の黙祷。小牧英夫副会長(昭和56年卒)の開会宣言の後、全員で校歌を斉唱しました。次いで、安藤寛樹会長(昭和45年卒)が、「同窓会は現在の五部体制に加え『作新若手異業種交流会』『部活動OB・OG会』も軌道に乗ってきた。今後もフレッシュな同窓会員の発掘に努め、更なる発展に邁進していきたい。」と抱負を述べました。

来賓を代表して船田 元学院長は「昨年創立130周年を迎えました。これからは140周年を見据え、建学の精神である文武両道・社会貢献を指標とする教育実践を更に発展させていく」と力強く述べられました。次いで、塩野谷 英彦

作新学院高等学校英進部長は、『文』においては毎年着実に国公立大学への合格率が増えており、『武』においても硬式野球部の五年連続出場や各部の全国への出場が増えています。などと説明がありました。次いで各市の市議会議員を代表して熊本和夫宇都宮市議会議員が「同窓会の益々の発展を応援していきたい」と祝辞を述べました。また特別ゲストとして出席された1976年モントリオール五輪で、日本男子体の五連覇に貢献した金メダリスト五十嵐久人新潟大学教育学部教授(昭和44年卒)は特別講演で「私の

競技生活の原点である円形体育館での自由奔放な毎日の練習が今でも懐かしい。作新の卒業生として誇りをもって日本のスポーツ会の発展に寄与していきたい」と述べられました。

議事は、青年部の福田 裕(平成4年卒)、山形哲也(平成10年卒)を議長団に選出し慎重に討議が行われました。


- 第1号議案・平成27年度事業報告並びに決算について (鈴木 勲幹事長)
- ・平成27年度基本特別会計報告について (鈴木 勲幹事長)
- 第2号議案・平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について(各部部长)
- 第3号議案・同窓会会則改定について(鈴木 勲幹事長)
- 第4号議案・平成28年・29年度役員改選について(三村 松司指名委員長)
- 第5号議案・その他

第1号議案から第4号議案まで慎重審議が行われ、原案通りに承認され、吉高神 渡副会長(昭和45年卒)の閉会の辞で、定時総会は無事終了しました。


終了後の懇親会は、吉羽 茂県議会議員の挨拶の後、大淵 皓之元会長の乾杯で幕を開け、久しぶりに会った先生や級友らと杯を重ね、楽しい一夜を過ごした。



1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん  
**尾花税務会計事務所**  
 〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2  
 (「ミストア 鹿沼西茂呂店」となり 茶色の2階建てが目印)  
 ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ  
**0120-806-087**



総合建設業  
**傘株式会社 鱒淵建設**  
 代表取締役 鱒淵 孝男  
 建築部 小牧 英夫(昭和56年卒)  
 宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

(総合建設業)  
 **株式会社 新生工業**  
 代表取締役 櫻井 英治(昭和57年卒)  
 宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

(総合建設業)  
 **中村土建株式会社**  
 代表取締役社長 渡邊 幸雄(平成4年卒)  
 宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581

## 作新学院高等学校同窓会

## 第42回 新年会・新成人祝賀会の開催

総務企画部副部長 天野 辰美 (昭和45年卒)

平成28年1月9日(土)「作新学院高等学校同窓会 第42回 新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。三村松司同窓会副会長の「開会の言葉」に続き、参加者全員でそれぞれに思い出深い母校の「作新学院歌」を斉唱しました。安藤寛樹同窓会会長の主催者あいさつの後、新成人者代表に花束の贈呈が行われ、同代表の鈴木亮介さんから祝賀会開催に対するお礼の言葉がありました。

船田元学院長の来賓祝辞では、創立130年を経て建学の精神をさらに深化させる「文武両道」「社会貢献」を日々の教育の中で実践した成果として、国公立大学合格者数124名という県下公立校第4位の実績や、夏の甲子園へ栃木県史上初の5年連続出場を果たした硬式野球部をはじめとする輝かしい各部活の活動実績とともに、エコキャップ回収、足尾での植林活動、被災地支援活動の継続等、社会貢献活動の紹介を受け、真摯な教育活動の取り組みと、その理念に基づき日々躍進する母校の姿に、400名に近い参加者は作



新学院同窓生として、新たな喜びと感動と誇らしさに胸を大きく膨らませました。

新年会・新成人祝賀会後の懇親会では、東日本大震災の直後で入学前のオリエンテーションが実施できないまま、不安の中で高校生活をスタートさせた経験によって、人に寄り添い思いやりの気持ちを大きく育てることができた平成25年卒業の新成人者と、進学や就職により、それぞれの目標に向かって成長する教え子の姿を見るためにご参加頂きました50人を超える教職員の皆さんが一堂に会し、2年振りに見るお互いの元気な姿を喜び合い、祝賀会は大盛況のうちに、名残惜しさの中で再会を誓い合いお開きとなっていました。



## 株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)  
宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330  
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

## (有)川口写真館

代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)  
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641



## 夏の甲子園優勝 祝賀会開催される

組織財政部会長

櫻井 英治 (昭和57年卒)



夏の第98回全国高校野球選手権大会を54年ぶりに制した作新学院高等学校硬式野球部の優勝祝賀会が、12月11日(日)宇都宮市内ホテル東日本宇都宮で開催された。

硬式野球部OB会主催、作新学院高等学校と作新学院高等学校同窓会共催で、OBなど関係者約800人が全国制覇の興奮を振り返った。

開会前、54年前大会史上初の春夏連覇に導き、先月11月に83歳で亡くなった山本理 元監督の冥福を祈り全員で黙祷を行いました。

福田義之硬式野球部OB会副会長の開会の挨拶のあと、深紅の優勝旗を手に山本拳輝前主将を先頭に42人の3年生が入場、会場内は拍手喝采で出迎えた。

国歌、学院歌斉唱の後、亀岡偉民硬式野球部OB会会長は『日本一を成し遂げる難しさはここにいる皆さんが分かっている。岩嶋部長、小針監督、馬場コーチ、選手スタッフ全員が心をひとつに勝ち上がってくれた優勝である事に、改めて敬意を表したい。福田知事、応援して下さいの方々みなさんへ感謝します』とあいさつ。

船田元学院長は『作新民、人間力を最大限に極めてくれた結果である、3年生はまだまだ、発展途上です。今後とも高めていって下さい』と激励の言葉を述べられました。

安藤寛樹同窓会長は『甲子園での応援、その場に立ち会えた事に感動しました、12万超の全国の同窓生が球場で、またテレビで応援し大変喜んだ事と思います』とあいさつ。

小針監督は『代表校49番目のチームだと思いきスタートした選手たちが、1試合毎に成長を続けて成し遂げた優勝でした。栃木県、宇都宮代表として応援下さり、熱い声援のおかげで、緊張や不安を取り除いてくれました』と報告。選手自己紹介では、西武へ入団、背番号11をつけることが決定した今井達也投手が自己紹介すると大きな拍手がわき起こった。

会場には54年前のエース八木沢荘六さん、千葉ロッテ岡田幸文外野手、巨人松崎啄也捕手、日本ハム入団決定の石井一成内野手(早大)など多くのOB達が駆けつけた。

元宇都宮工業高校監督の猪瀬成男さんの乾杯で祝宴。来賓の皆様による祝辞と応援団部OB会によるエール演技をしていただきました。

最後に岩嶋部長から『選手達が力以上の力を発揮し、皆様の御声援のおかげで優勝出来ました。本当にありがとうございました』と謝辞のあと、高山道夫硬式野球部OB会副会長による万歳三唱にてお開きとなりました。

### 仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田 陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

### (株)とらや弥生

代表取締役 柿沼 克弥

柿沼 宏 (昭和31年卒)

柿沼 誠 (平成7年卒)

宇都宮市中岡本町3723-24 ☎028-666-0530

同窓会恒例視察・研修

「秋の日光を訪ねて」



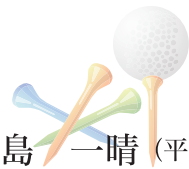
文化厚生部会長 遠藤 盛 (昭和58年卒)

今回の同窓会文化厚生部主催研修旅行は地元の歴史探訪と称し、世界遺産の日光へ足を運びました。秋晴れの中、参加者26名が参加しました。日光東照宮社務所に到着後、巫女さんの案内でまず黒田官兵衛嫡男長政寄進の石鳥居から見学。次に五重塔ではその内部にぶら下がる芯柱は現代のスカイツリーにも引き継がれる制振構造で、地震国日本の技術者の底力を垣間見ることが出来ました。表門から三神庫、三猿の神厩舎、御水舎を通り国宝陽明門へ。平成の大修理中ですが今年3月のお披露目だそうです。唐門から御本社拝殿に渡り、なんと天井も壁もひときわ豪華な「将軍着座の間」での特別祈祷。去年は家康公没後400年の節目の年でもあり感慨深い体験でした。

参拝後、日光カステラ本舗磐梯日光店にてサービス満点の美味しい昼食を頂き、旅の最後は船村徹記念館の見学。地元の名所史跡と共に大御所の作曲家の歴史にも触れること満載の研修旅行でした。



作新学院同窓会「親睦ゴルフコンペ開催」について



広報部 中島 一晴 (平成5年卒)

平成28年11月29日(火) 広報部主催により、「第1回親睦ゴルフコンペ」を鬼怒川カントリークラブにて開催しました。当日は、肌寒くはありましたが天候にも恵まれ、安藤寛樹会長をはじめとして総勢42名の同窓生が参加し、日頃のゴルフの腕前を競い合いました。プレー終了後、ホテルニューイタヤに場所を移し、表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。パーティーでは、安藤寛樹会長の開会のごあいさつから始まり、ご来賓として船田元学院長にもご参加いただきました。

で、たくさんの作新学院同窓生の友人知人をお誘いあわせのうえ、ご参加をお願いしたいと思います。

腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も気軽に参加でき、先輩や後輩、同級生と同じ作新学院同窓生として交流を深めることができます。次回は更に参加者を増やして開催したいと思いますの



- 優勝 : 酒井康雄さん (昭和43年卒)
- 2位 : 三村松司さん (昭和35年卒)
- 3位 : 関 明彦さん (昭和61年卒)
- ベストスコア : 大久保恵一さん スコアー80



(有) 坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)  
 代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)  
 宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003  
 FAX 028-632-9148

野菜タップリ! グルメも納得!  
 うつのみや 名物 新三の薄皮餃子  
 『割烹弁当』の新三  
 代表取締役 鈴木 郁夫(昭和24年卒)  
 宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337



## 作新学院高等学校『第3回 若手異業種交流会』



交流会実行委員長 本澤 崇 (平成2年卒)

作新学院高等学校同窓会の皆様、仕事やプライベート共に益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

今回、第3回目の若手異業種交流会の開催の報告をさせていただきます。

先ず、皆様は作新学院高等学校を卒業する際、同時に同窓会に入会していただいております。しかしながら、卒業後の交流が少なく同窓会の活動を認識していない卒業生も多く見受けられます。また、卒業生は約12万人を越え、県内は勿論、日本一であります。その様な状況ですから、作新同窓生であることすらも知らずに日々の付き合いをしていることを多々見受けられますし、何処かで行き会うと、「作新卒？」のような会話は日常茶飯事です。

これらを少しでも打開するに、作新の風を吹きおこし、先ずは卒業生の裾野を広げるために、去る平成28年9月10日、ホテル丸治にて船田元学院長、安藤会長と共に60数名で開催いたしました。

交流会では、会の趣旨説明に始まり、同窓会活

動を知っていただくために、現在の組織「総務企画部」・「組織財政部」・「広報部」・「文化厚生部」・「青年部」5部の活動など、同窓会を周知いただく構成としました。

その後この交流会の可能性や動向を見出すために、参加者の考えや想いを、自己紹介を兼ね学生時代の思い出と共に全員にスピーチを頂きました。また今回は甲子園優勝した野球部OBが数多く参加いただき、その勢いそのままは進行し、卒業生の発言は力みなぎるものであり、改めて作新の力強さを感じられる有意義な時間であったと思います。

今回で3回目ということもあり、徐々に裾野の広がり、会の目的である同窓会の周知に貢献できていると感じるところもありますが、まだまだ卒業生は数多くおります。従いまして様々な可能性を広げるため、今後の開催も検討しております。その際は、これまで同窓会と関係が薄い卒業生等にお声掛けいただき、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いします。

### 金 田 商 会

代表取締役 金田真麒 (昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

### Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

取締役会長 伴 清 (昭和35年卒)

代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

### 藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田勝春 (昭和35年卒)

宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266

### 昭和車輛(株) (重機の修理・販売)

代表取締役 坂本功樹 (昭和50年卒)

宇都宮市上大曾348 ☎028-624-8553

## 東京作新会の活動

東京作新会会長 君島 孝夫 (昭和40年卒)

作新学院高等学校同窓会の皆様、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。文武両道の作新学院は、昨年夏甲子園大会で硬式野球部が優勝し、作新の風が日本中を吹き渡り、卒業生として胸を張ることができました。また進学では、国公立大学合格者が年々増加していると聞き重ねて嬉しく思います。

さて今回は4回生の相場啓介さんをご紹介します。相場さんは、知人で彫刻家であり、画家の故中村直人氏(1905年～1981年)の芸術に関心を持ち、中村直人彫刻絵画調査研究所を設立、社会貢献活動を始め30年が過ぎ、中村直人の芸術作品集7冊目を発行しました。当時相場さんは中村直人さんとよもやま話をしながら原宿、表参道をドライブし、新宿の酒場へ繰り出し、とりとめのない美術界の話をしていたとのこと。相場さんは中村直人作品(木彫・絵画)を日本の文化として世界に広めることを夢に見、努力しています。

ちなみに中村直人さんは自身の作品の中で唯一の野外彫刻(セメント立像高さ3.6m)を夕張鉱業所前に1週間で完成させ、制作から72年が過ぎ風化が進んでおりますが、「夕張市指定有形文化財」として展示



され、石炭博物館の観光資源として愛されています。

今年も母校の活躍を楽しみに、東京作新会開催を楽しみにしております。(皆様の入会をお待ちしております)

### 東京作新会 世話人

連絡先	君島 孝夫	☎0123-57-7811
	鶴巻 克雄	☎0424-21-0177
	相場 啓介	☎03-5453-1616
	北村 文子	☎03-3918-9904
	海藤 政子	☎03-3392-7032
	落合 明子	☎048-269-2020

## 作新学院二里山会と同窓会とのかかわりについて

二里山会会長 菅谷 充司 (昭和53年卒)



作新学院同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

「作新学院二里山会」は、自身が作新学院(高等学校に限らず)を巣立った後、再び母校に戻って奉職した教職員の親睦団体です。

平成28年度の会員数は162名。所属の内訳は、高等学校67名、中等部11名、小学部8名、幼稚園11名、事務局44名・大学短大教職員21名となり、これは作新学院教職員全体の人数の約3分の1に相当します。

主な活動としては、年1回開催の「総会(活動報告・会計報告・役員改選等)」と、前年度にご退職された方の送別会と新加入会員の歓迎会を兼ねた懇親会の開催があげられます。また、同窓会活動に対する参加協力なども、随時行っております。

今年度の懇親会は、さる9月6日(火)に宇都宮市内のホテルで開催され、ご多忙中にもかかわらず、学院長先生や同窓会幹部の方々のご臨席を賜り、和気藹々とした雰囲気のもと、楽しいひとときを過ごしました。在学期間はそれぞれ違えど、私たちには作新学院の生徒として過ごした者が共有する「作新時間」があります。恩師や友人の話題など思い出話に花が咲き、明日からの仕事への活力を蓄えることができた思いです。

私たちは、母校の教壇に立つ者としての責任を感じ、日々の教育現場においても、今以上に作新学院の生徒であることの誇りを生徒たちに伝えていくことが可能なのではないのでしょうか。それが私たちの使命でもあると考えます。

### イマイズミ (宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

NETIS登録

KT-10005 防草緑化挿し芽植栽工法

株式会社 落合 東光園

代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)

事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751



## 今年成人を迎えられる卒業生

## ご成人おめでとうございます。

英進部

新成人として輝かしい未来に一步を踏み出された皆さん、そして嬉しい時も悲しい時も愛情深く育て上げられたご家族の方々に、心からご祝詞を申し上げます。

まだあどけない顔立ちで迎えた入学式から始まり、学院祭・合唱祭・英進ウォーキング等の学校行事、早朝から夜遅くまで励んだ学業を通して皆が結ばれ、学年全体が一丸となって「受験」という難敵に立ち向かい、輝かしい実績を残した道のりを思わないことはありません。

これから皆さんが乗り出そうとしている未来には多くの困難が待ち受けています。人口減少・災害への対処・高齢化社会・AIと人間の関係構築等、枚挙に暇がありません。そうした問題に答えを見出していく思考力・発想力・熱気が皆さんに求められているのです。「開拓精神によって自ら新しい世界に挑み、失敗、反省、勇気という三つの道具を繰り返し使うことによってのみ、最後の成功という結果に達することができる」とは、本田宗一郎氏の言葉です。大きく目を開き、よく考え、自分の信じる道を一生懸命に歩んで下さい。

平成26年度 英進部 第3学年主任 水沼 規明



平成26年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 元 氣 の 里

(特別養護老人ホーム・ケアハウス)  
施設長 角田 充 由 (平成5年卒)  
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

## 医療法人(社団)荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏 明 (昭和48年卒)  
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

## 花と園芸

## (株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)  
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

## 金箱工設株式会社(総合設備業)

代表取締役 金箱 忠 司 (昭和46年卒)  
宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603  
info@kanebako.co.jp  
うつのみやCSRまちづくり貢献企業





平成26年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 今年成人を迎えられる卒業生

# ご成人おめでとうございます。

総合  
進学部

新成人の皆さま、成人おめでとうございます。そして、皆様を今日まで愛情を込めて育ててこられましたご両親をはじめご家族の皆さまに敬意を表するとともに、お喜びを申し上げます。

今の日本は、自然災害が多く発生し、人々が安心して生活するためには、都市・街の再構築が急務です。経済が成長し、産業の発展、医療の充実が図られ人々の生活が豊かになるためには、「助け合い、支えあい」の姿を体現し社会的役割を果たしていく皆さんの力が必要です。世界一安心できる日本を作る気概を持って生きていってほしいと思います。

育ててくれた両親や、周りの人に感謝する気持ちを忘れずにいてください。20歳という人生の節目を祝い、大いなる飛躍を期待しています。

平成26年度 総合進学部 第3学年主任 吉田 渉

### 小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)  
宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770  
m-koba@moon.ucatv.ne.jp

### (株)本澤建築設計事務所

<http://www.honzawa-net.co.jp/>  
代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)  
専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)  
宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

総合建築資材商社

### 株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)  
宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327  
<http://www.shiroki-ya.jp/> FAX 028-633-0792



(総合建設業)

### 末長建設株式会社

代表取締役 末長 修一 (昭和57年卒)  
宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675



## 今年成人を迎えられる卒業生

## ご成人おめでとうございます。

情報  
科学部

作新学院を巣立った皆さん、「晴れての成人の儀」誠におめでとうございます。

さて、皆さんが過ごしてきました約20年という月日の景色は、どのようなものだったでしょうか。「光陰矢の如し」——。時の流れは立ち止まることを知りません。しかし、振り返れば、多くの方との絆に支えられながら今日を迎えられたのではないのでしょうか。

人生には、折り返し地点というものはなく、同じ景色に出会うことは二度とありません。どうか皆さんの人生航路が晴れやかでありますことをお祈りするとともに、夢いっぱい帆を広げ、大海原を進んでほしいと思います。

最後に、ここに成人式を迎えられました同窓生一人ひとりが誇りを胸に、最高の人生を歩んでいくことを心よりご期待申し上げます。

平成26年度 情報科学部 第3学年主任 中原 康喜



平成26年度卒業時の第3学年担任の先生方

**太平産業開発(株)** (太陽光発電事業)  
代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)  
宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156



**株式会社 帝都** (葬祭業)  
代表取締役 秋葉 秀樹 (平成5年卒)  
那須塩原市豊町13-9 ☎0287-62-3131

**東野交通(株)** (旅のことなら)  
高梨 義久 (平成3年卒)  
宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

**日建工業株式会社**  
代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)  
宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021  
FAX 028-625-7523  
E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

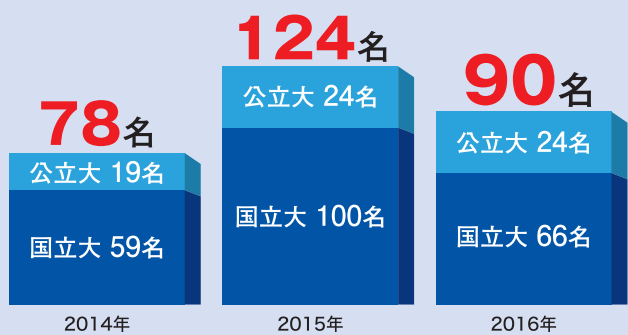
# 昨年度の進路状況

～東工3・東北3・横浜国立2・筑波・国際教養など**国公立大学に90名**、  
早稲田・上智・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に**97名**が合格!!～  
宇大に19名合格は県内4位 医学部医学科に10名が合格

平成27年度の卒業生1,223人の進路の内訳は、4年制大学に523人、短期大学に53人、専門学校(予備校を含む)に306人が進学し、就職・その他は341人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は72.1%、就職・その他は27.9%であった。

が強く、これまで人気だった調理、栄養、服飾系は勿論、多くが医療系(看護・歯科衛生・医療福祉)に進学した。中でも栃木県立衛生福祉大学校、病院附属の看護専門学校など、十分な受験勉強が求められる専門学校への進学が増えたことは特筆できる。一方男子に関しては、県内外のこだわりは少なく、多くが行きたい専門学校を選んでいる。分野別では、工業技術系、医療福祉系が中心だが、将来を見据えた進路選択をし、合格を果たした。

## 過去3年間の国公立大学の合格実績



就職に関しては、今年度求人企業数は1,604社(前年比123社増)となり、昨年を上回った状況といえる。傾向としては、昨年同様、関東エリアでの建設業・外食産業での求人の増加が見られた。求人増の要因としては、製造業の業績向上が追い風となって、高校生の“売り手市場”が続いていると考えられる。一方では、医療・福祉分野にける、深刻な人手不足がまだまだ続く状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「主体的・旺盛な意欲」「十分な基礎学力」が求められる傾向にあるが、学院では各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談の実施などが功を奏し、早い時期に昨年の内定率を上まわった。こうした状況によって、例年同様、3月末にはほぼ100%の内定率を達成することができた。

平成28年度入試の国公立大学合格者は、90人(国立大学66人<うち現役65人>、公立大学24人<うち現役22人>)であった。主な合格大学としては、東京工業大3・東北大3・東京藝術大1・筑波大1・横浜国立2・奈良女子大1・東京学芸大2・電気通信大1・埼玉大3・金沢大1・静岡大1・国際教養大1・首都大東京2などが挙げられる。このうち、東京工業大学への3名合格は、作新学院初の快挙であった。また、地元の宇都宮大には、教育学部4人・国際学部3人・地域デザイン科学部2人・工学部6人・農学部4人の計19人が合格を果たし、県内4位の好結果を残した。

一方、私立大学における主な合格大学としては、早稲田大6・上智大1・東京理科大9・立教大7・明治大18・青山学院大13・中央大13・法政大15・学習院大6・同志社大3・立命館大4・関西学院大1・関西大1・東京医科大(医)1・日本大(医)1・獨協医科大(医)3・東北医科薬科大(医)1・金沢医科大学(医)2・福岡大(医)1・日本獣医生命科学大(獣医)1・日本大(歯)1・日本歯科大(歯)3・東京薬科大1・日本大(薬)2などが挙げられる。

専門学校への進学は、依然「地元志向」が根強く進学者の6割強が県内の専門学校である。特に女子はその傾向

平成27年度卒業生 進路先

部	進路	卒業生					
		卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校(予備校を含む)	その他
英進部	男	168	132	333	0	30	6
	女	123	103	227	2	15	3
	計	291	235	560	2	45	9
総合進学部	男	271	145	177	0	55	71
	女	200	75	100	33	67	25
	計	471	220	277	33	122	96
情報科学部	男	268	50	53	0	60	158
	女	193	18	19	18	79	78
	計	461	68	72	18	139	236
総計	男	707	327	563	0	145	235
	女	516	196	346	53	161	106
	総計	1223	523	909	53	306	341



運動部 sports

硬式野球部 54年ぶりの2度目の全国制覇、国民体育大会 いわて国体の各種競技で優秀な成績を収める。

第98回 全国高等学校野球選手権大会

<硬式野球> 54年ぶり全国制覇

今井達也(総3) 鮎ヶ瀬一也(総3) 入江大生(総3) 藤野佑介(総3) 篠崎高志(総3) 山本拳輝(総3) 碓 大誠(総3) 小林虎太郎(総3) 山ノ井隆雅(総3) 宇賀神陸玖(総3) 藤沼竜矢(総3) 仲尾有矢(総3) 守谷拓海(総3) 水口皇紀(総3) 添田真聖(総2) 鈴木萌斗(総2) 栗原涼吾(総3) 田代敬祐(総3)



第11回 BFA U-18アジア選手権

<硬式野球> 優勝

今井達也(総3) 入江大生(総3)

第61回 全国高等学校軟式野球選手権大会

<軟式野球> ベスト4

相田莉斗(総3) 大塚皓輔(総3) 阿久津海士(総2) 高橋健流(情2) 半田莉紅(総3) 新井魁斗(総1) 鈴木優太(総2) 神成汰星(総2) 村田和哉(英3) 川子 篤(総2) 野澤夏来(総1) 小松大華(総2) 池田康太郎(総2) 船山浩光(総3) 近藤大記(情3) 平工広大(情3)

春夏連続優勝以来、54年ぶり2度目の全国制覇を成し遂げることができました。エース今井達也の快速球。鉄壁の守りと見事な集中打。そして、日本一に相応しいアルプス応援団。ベンチとスタンドが一体となり、作新力の全てが結集され、勝利の女神は常に味方してくれました。多くの同窓会の皆様方からの熱いご声援に心から感謝いたします。これからもさらに高い目標を掲げて前進していきます。(硬式野球部 岩嶋先生記)

ASBCアジアユース選手権大会

<ボクシング>

黒柳 禪(総3) ウェルター級銅メダル

第71回 国民体育大会 希望郷 いわて国体成績

<硬式野球> ベスト8

今井達也(総3) 鮎ヶ瀬一也(総3) 入江大生(総3) 藤野佑介(総3) 篠崎高志(総3) 山本拳輝(総3) 碓 大誠(総3) 小林虎太郎(総3) 山ノ井隆雅(総3) 宇賀神陸玖(総3) 藤沼竜矢(総3) 仲尾有矢(総3) 守谷拓海(総3) 水口皇紀(総3) 栗原涼吾(総3) 田代敬祐(総3)

<軟式野球> ベスト8

相田莉斗(総3) 大塚皓輔(総3) 阿久津海士(総2) 高橋健流(情2) 半田莉紅(総3) 新井魁斗(総1) 鈴木優太(総2) 神成汰星(総2) 村田和哉(英3) 川子 篤(総2) 野澤夏来(総1) 小松 大華(総2) 池田康太郎(総2) 船山浩光(総3) 近藤大記(情3) 平工広大(情3)

<ボクシング>

黒柳 禪(総3) ウェルター級優勝  
内田将光(総3) ミドル級ベスト8

<ゴルフ>

内田直輝(総3) 少年男子個人3位

<水泳競技>

田北 峻(総1)  
少年男子B100m自由形6位・400mフリーリレー6位  
遠藤 光(総1)  
少年男子B400m自由形4位・400mフリーリレー6位  
本郷史温(総1)  
少年男子B100m平泳ぎ8位・400mフリーリレー6位

<陸上競技>

中里将基(総1) 少年男子B100m7位

<自転車競技>

眞杉 匠(総3) 1kmタイムトライアル7位

インターハイ・2016 情熱疾走 中国総体

<ボクシング>

黒柳 禪(総3) ウェルター級優勝  
内田将光(総3) ミドル級準優勝

<弓道>

齋藤果奈(総3) 個人3位  
団体4位  
熊倉拓磨(総1) 川嶋一穂(情3) 岡部遼河(情3) 高橋郁也(総3) 山下海音(情2)

<陸上競技>

4×100mリレー4位  
江田尋貴(総3) 西田達哉(総2) 落合 廉(総2) 中里将基(総1)

<自転車競技>

石井 菜摘(総3) 女子ケイリン5位  
小口加奈絵(総2) 女子スクラッチ6位

<バドミントン>

女子学校対抗ベスト8  
大関令奈(総3) 中静日向子(総3) 海老原詩織(総3) 榎谷志穂(総2) 佐川智香(総1)

全国大会成績

<ゲートボール> 全国ジュニアゲートボール大会

女子1部クラス 優勝  
平石里菜(総3) 並河綾香(総3) 井上由季奈(総2) 大島衣織(情2) 藤田結女(総3) 渡邊珠生(情3) 川上佳純(情2)

<パワーリフティング>

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

小堀 美穂(英2) 57kg優勝  
福島 諒子(ト英2) 72kg優勝  
増田 有香(総2) 63kg4位



福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070 (代)

(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之(昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220

文化部 culture

書道部の久武志登君(英進3年)全国学生書写書道展で『文部科学大臣賞』を受賞する。

●書道部

第40回全国学生書写書道展(全国書写書道教育振興会主催)席書の部において、英進部3年久武志登君が高校の部第1位にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。この展覧会は、各地で行われた席書大会の中から優秀な作品を中央審査会で審査されるものです。今回は「博学而篤志」の5文字が課題で、手本を見ないで20分で2枚の作品を仕上げ、1枚を提出するものです。この大会では3年ぶり3回目の全国1位となりました。また、全国6位となる全書会会長賞に、総合進学部3年石田詩織さんが受賞しました。

今年度は2月5日から7日まで、栃木県総合文化センター第4ギャラリーにて作新学院書道展を開催します。教職員や卒業生の作品を始め、2年生の超大作を発表します。初日16時から会場にて書道パフォーマンスを披露しますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。(塚原秀信先生記)

全国書写書道教育振興会主催 第40回全国学生書写書道展

席書の部

久武 志登(英3)  
文部科学大臣賞  
石田 詩織(総3)  
全書会会長賞



す。野球といえば、華やかなチアリーディング部の演技、応援部の迫力あるエール、野球部員の低音の効いた声援が選手に勇気を与え、さらに、吹奏楽部の奏でる数々の応援曲が何といても試合を盛り上げます。吹奏楽のない高校野球の試合は味気ないものです。野球部の強豪校の中には吹奏楽の有力校も少なくありません。今回B S朝日放送から長期密着取材を受け、「夏の甲子園!吹奏楽の熱い闘いドキュメント」で放送されました。また、「モンスターストライク」の挿入曲を応援で演奏したところ、ミクシー[XFLAG]からオフアをいただき、取材を受け、動画がYouTubeにアップされました。再来年には夏の選手権が第100回の記念すべき年にあたりますが、幕張メッセで大規模な催し物が計画中で、作新学院吹奏楽部も出演依頼が舞い込んでいます。さて、今年度の大会での成果ですが、第58回栃木県吹奏楽コンクールでは下級生のチームも頑張り、高等学校の部D部門(25人以上)で金賞を受賞しました。チームの底上げには下級生の演奏力の向上は次年度以降に大きく影響するので、よく頑張りました。また、高等学校の部A部門の主力メンバーは自由曲に真島俊夫先生の「富士山」を演奏し、金賞を受賞しました。第22回東関東吹奏楽コンクールでも美しいサウンドで、聴衆に訴えることができ、16回目の金賞を受賞しました。栃木県高等学校総合文化祭総合音楽祭吹奏楽部門では吹奏楽部会長賞(第1位)を3連連続受賞し、下野新聞にも大きく掲載されました。そして、11月6日(日)には第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場します。昨年まで、4年連続で最優秀賞を受賞していますから、今年も良い成果が上げられるよう頑張ってきます。(チーフ顧問 三橋英之先生記)

●吹奏楽部

今年度は硬式野球部が夏の全国高等学校野球選手権で2度目の全国制覇を果たし、私たち吹奏楽部もその瞬間に立ち会うことができ、感動を共有できました。9月の東関東吹奏楽コンクールの会場でも大勢の方から祝福されました。コンクールでの演奏の感想は二の次で複雑な気持ちになりましたが、多くの友人が野球部を応援していただいたことに感謝していま



北都電工株式会社

代表取締役 荒井 健次

常務取締役 荒井 博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

HOTEL NEW ITAYA

<http://www.newitaya.com/>

加納 優 (昭和39年卒) 原田 欣明 (昭和62年卒)

福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

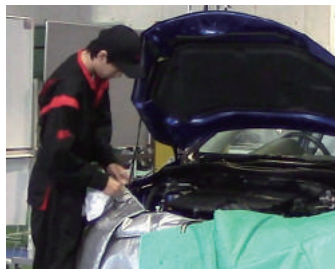


第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会 最優秀賞

- 砂田 尚子(総3) 船生 美樹(総3) 小森 美紅(総3)
- 星野 奏(総3) 加藤 里彩(総3) 高橋真里菜(総3)
- 松本 真帆(総3) 泉 大地(総3) 伊藤 拓海(総3)
- 金子 夏希(総3) 保坂 鷹宣(総3) 森田梨香子(総3)
- 田村 光大(総3) 前田 佳穂(総3) 小野 夏美(総3)
- 坂本 将(英3) 渡邊 悠太(英3) 黒木 響太(英3)
- 高橋 舞瑠(情3) 岡田 玲奈(情3) 野中美悠妃(情3)
- 篠崎 梓(情3) 加藤 大政(総2) 若尾 涼那(総2)
- 宇賀神有矢(総2) 渡辺 大輝(総2) 刈部 珠乃(総2)
- 飯田華奈江(総2) 吉澤 愛(総2) 中嶋 唯(総2)
- 森 南菜子(総2) 館野 真由(英2) 速水 力(英2)
- 川中子 愛(英2) 星野 綺花(英2) 海老沼莉聖(英2)
- 松本 七海(英2) 鈴木 凌(情2) 立川 真央(情2)
- 渡邊 楓(情2) 小畑 舞華(情2) 谷田果奈美(情2)
- 菊池 舞(情2) 菊池佳乃子(総1) 馬場 健人(総1)
- 佐藤 梓(総1) 栗原 日和(総1) 隅内 隼人(総1)
- 菊地 梨歩(総1) 室井 柊香(総1) 土橋 佳奈(総1)
- 河合 祐花(総1) 茂木 茜(英1) 小菅 暖香(英1)
- 清水美沙紀 (英1)

●工業技術部

平成28年度は、工業技術部にとって躍進の年となりました。8月に開催された若年者ものづくり競技大会自動車整備職種において、前年の予選を勝ち抜き関東ブロック代表選手として出場した自動車整備士養成科3年の宇賀神公輝君(日光東中学校出身)が見事全国3位に入賞しました。その結果、さらに10月に山形県で開催された第54回技能五輪全国大会(自動車工職種)への出場選手として選考され、本校初の技能五



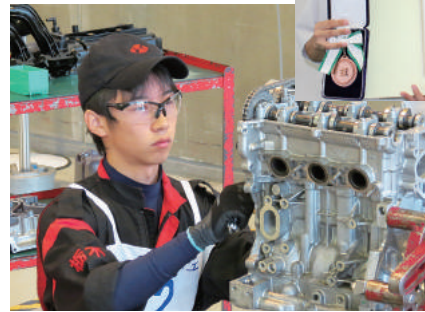
▲関東大会優勝の鹿島君(故障診断課題)

輪出場を果たしました。結果は残念ながら入賞とまではいきませんが、高校生として一般社会人に交じって技能五輪に出場できたことは、それだけでも称賛に値することだと言えます。

また、同時期に東京で開催された高校生ものづくりコンテスト関東大会(自動車整備部門)において、自動車整備士養成科3年の鹿島 昇君(陽南中学校出身)が見事優勝し、11月に札幌市で行われた全国大会に出場しました。こちらも初の全国大会出場となり、大きなステップアップを果たしました。今後も、みんなで切磋琢磨しながら全国優勝を目指して頑張っていきたいと思います。

第11回若年者ものづくり競技大会

宇賀神公輝 (情3)  
自動車整備職種 銅賞



▲全国第3位の宇賀神君と関東大会優勝の鹿島君

◀全国大会3位入賞の宇賀神君(エンジン課題)

●美術

第20回全国きものコンクール

青柳 恭庸(情3) 新潟県知事賞  
鈴木 茉由(情3) 金賞

第1回全日本高校生デザイングランプリ

鈴木ひかる子(情3) 準グランプリ



株式会社  
Roo 企画装飾  
代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)  
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32  
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

作新学院 親交会  
会長 荒井 祥  
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院高等学校 P・T・A  
平成24年度優良PTA文部科学大臣賞 受賞  
会長 片柳 二郎  
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

鈴木 整骨院  
院長 鈴木 仁 (昭和31年卒) 硬式野球部OB会名誉会長  
副院長 鈴木 和仁 (昭和57年卒)  
宇都宮市鶴田町 2945-16 ☎・FAX 028-633-8066

宇都宮のあたたかい家づくりNo.1 株式会社オースタム  
代表取締役 鈴木 松男  
専務取締役 鈴木 博之 (平成9年卒)  
宇都宮市立伏町948-163 ☎028-672-3734 http://www.oustam.com/

宇賀神工業 株式会社  
代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)  
鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141  
ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

# 作新学院 部活動

# OB・OG

活動

部活動OB・OG会会長  
川島 八郎(昭和37年卒)

第4回部活動OB・OG会会議および懇親会が、学院長船田元先生をはじめ、各部の部長、各部活動顧問、OB・OG(男子多数:女子少数=検討課題)、同窓会からは安藤寛樹会長や執行役員等多数が出席し、10月21日(金)ホテルニューイタヤで盛大に開催されました。

船田元先生・安藤寛樹会長からは、「教育目標でもある「文武両道」の「文」は国立大学・有名私立大学への合格者が年々増加している成果。さらなる難関大学を目指す「トップ英進部」を26年4月からスタートしました。さらに、硬式野球部の54年ぶりの全国制覇は全国の作新ファンに大きな感動と勇気を与えた。そして、世界を代表するアスリートの萩野公介選手の「金・銀・銅」メダル獲得は、日本中を「歓喜」に包みしました」等の挨拶がありました。来賓祝辞では、ラグビー部OBで、40年余の母校教諭から転身し、栃木県議会議員に初当選した吉羽茂氏が行ない「文武」の活躍は本当に素晴らしいと称賛の言葉を述べられました。

懇親会に入り、夏の甲子園・萩野選手のDVD鑑賞では、新たな感動を得ました。最後に部活動顧問・OB・OGから活動の報告があり、今年度の反省も踏まえ来年度のさらなる躍進、4年後の東京オリンピック、6年後の栃木国体での『作新旋風』

を引き起こす指導・協力を惜しまない決意が滲んでいました。

“最高に恵まれた環境にある現役選手諸君・OB・OGの皆さんへ”並大抵のことでは成就出来ないの  
で顧問・OB・OGとの力を合わせ自分でつかみ取る勇猛果敢な努力をいたしましょう。現役部員の活躍は、OB・OGの誇り！OB・OGの成功は、部員の刺激となり相互効果を生みます。大樹の陰に隠れては駄目・楽を求める気持ちを持つのも駄目ですよ！！お互いに頑張りましょう。

部活動OB・OG会は、益々の活躍を期して、次のような活動をしています。

1. 全国大会に出場・参加する部への支援
2. 作新学院と同窓会とで、活動の一環として、部活動顧問の先生方から何か教示をいただき有意義な会にするために、合同にて意見交換会を毎年定期的に開催している。



## 作新経済同友会の活動

事務局長 三村 松司(昭35年・商3回卒)

作新経済同友会(坂本 昭会長=昭30年・高8回卒)(会員26人)は、同窓会の役員等を歴任した方々が中心となって、活動に制限のある同窓会と連携をとりながら、異業種の会員による幅広い交流によって、会員相互の親睦と経済的な地位向上を目的として活動しております。

毎月1回の定例会や、外部有識者を講師に勉強会の開催、会員のソバ打ち名人による、“新ソバを食す会”、見聞を広める研修旅行も年1回行っております。

昨年6月には防衛省の見学と英霊が眠る靖国神社へ行ってきました。防衛省は、旧防衛庁があった六本木地区から、平成12年5月に約25ヘクタールの広大な市ヶ谷台(旧尾張藩邸跡地)に移転してきました。地域内に起居する自衛官を含め1万人の職員が常駐し、多くの近代建



築群が点在しています。まず最初に、自衛隊創設から現在まで、陸海空の訓練や災害派遣などで殉職された1850人を超える方々の慰霊碑を参拝。そして式典等が行われる儀仗広場を通り、歴史的建築物で重厚な建物として知られる市ヶ谷記念館へ。同記念館は、昭和21年に始まった極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷だった所で、日本の戦争指導者が断罪されている。その後は米国極東軍事司令部として使用されたが、昭和35年から陸自の東部方面総監部及び陸・海・空自衛隊幹部学校として使用された。作家三島由紀夫率いる楯の会が立て籠ったことでも有名だ。二階に旧陸軍大臣室や天皇陛下の休憩室(旧便殿の間)もある。一階には、多くの軍人の遺品等も展示され、見学者の涙をさそう。

その後、バスで英霊が祀られている靖国神社へ。同神社は、明治2年明治天皇が創建(創建時は招魂社、後に靖国神社)したもので、近代日本の出発点となった明治維新の志士や、日清・日露、第一、第二次世界大戦のために命を落とした方々や戦場で活躍した民間人の方々など多く祀られており、会員一同、慎んでお参りして来ました。

### 同窓会組織(執行役員)

会 長	安藤 寛樹(昭和45年卒)	幹 事 長	鈴木 勲(昭和38年卒)
副会長	三村 松司(昭和35年卒)	総務企画部 部長	小池 国夫(昭和45年卒)
〃	吉高神 渡(昭和45年卒)	組織財政部 部長	櫻井 英治(昭和57年卒)
〃	小牧 英夫(昭和56年卒)	広 報 部 部長	渡邊 幸雄(平成4年卒)
〃	菅谷 充司(昭和53年卒)	文化厚生部 部長	遠藤 盛(昭和58年卒)
〃	渡辺 毅(昭和50年卒)	青 年 部 部長	安藤 篤史(平成8年卒)
〃	福田 勝江(昭和31年卒)		
〃	尾花 一浩(平成元年卒)		

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>  
E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp